



子供たちの「自立」に向けて「学力」を！

副校長 博多 正勝

【平成29年度授業改善推進プランより（抜粋）】 ※今年度版の正式な公表は10月上旬の予定です。

<平成29年度 全国学力・学習状況調査結果より（6年生実施）>

	調査結果を踏まえた結果	調査結果を踏まえた課題
国語	ことわざの意味理解、漢字の読み書きはおおむね80%以上の正答率であった。	文章を読み、本文の叙述に基づいて作者の意図を読み取る力に課題が見られた。
算数	A問題(基礎基本)では15問中8問で正答率80%を超え、全体でも79.3%の正答率であった。	B問題(応用)では11問中7問で正答率が50%に届かず、知識の活用に関課題が見られた。

<平成29年度 児童・生徒の学力向上に関する調査結果より（5年生実施）>

	調査結果を踏まえた結果	調査結果を踏まえた課題
国語	相手や目的に応じた話し方、書き方を考えることについては90%以上の正答率であった。	文の中の主語・述語、修飾・被修飾の関係についての理解を確かなものにする必要がある。
算数	角度の問題で90%以上の正答率がある等、ほぼ80%以上の正答率で、基礎学力の定着が見られた。	問題の場面から情報を論理的に読み取り、思考を整理し、情報の関係性を理解する必要がある。

国や東京都は、児童・生徒一人一人に「確かな学力」を身に付けさせることを目標として、それぞれ学力調査を実施しています。国の調査は6年生、都の調査は5年生が行い、その調査結果から自校の課題を分析して「授業改善推進プラン」を作成し、授業改善を進めています。このプラン作成は東京都全体で実施しています。上の資料は、西東京市教育委員会からの書式をもとにして作成した抜粋になります。この資料から分かることの一つに、5年生・6年生ともに、基礎基本に関する問題に比べて、問題文の意図を正確に読み取り理解する等、応用面に課題が見られます。これは、全国的な傾向でもあります。

今年の3月に新しい学習指導要領が公示されました。3年後の平成32年からの実施に向けて、全国の小学校は準備を始めています。公示される前の国の報告(諮問文)には、我が国の子供たちが抱える課題について次のように示されています。

- ①判断の根拠や理由を示しながら自分の考えを述べるのが弱い。
- ②自己肯定感や学習意欲、社会参画の意識等が国際的に見て低い。

グローバル化が進み、社会の多様な変化の中で「自ら学び考え行動する力や、社会の発展に貢献する力」を、子供たちに身に付けさせていくことが重要です。

本校は以上の課題解決のために、算数を中心とした研究を進めています。取組の一つとして、45分の授業を改めて見返す「振り返り」を、どのクラスも実施しています。毎時間、最後に今日の自分の学習を振り返り、自分の変化が分かる「深い学び」を目指しています。この研究については、11月17日(金)に西東京市の研究指定校として研究発表会を行います(午後)。

詳細は後日配布する案内を御確認ください。多くの参加をお願いします。

図は1年生用の振り返りカードです。学年によって振り返る内容を変えています。中面にも本研究についての記載があります。

ふりかえり

- じぶんでかんがえた
- ともだちのかんがえをきいた
- かんがえをつたえた

とてもよくできた...
できた...
もう少し...
もうすこし...

